

下記の講演動画はイベント期間中 24 時間いつでも視聴可能です

技術パートナー講演

AP1 Ansys System EDB による CR-8000 Design Force 2021 との 3D 電磁界解析環境の紹介

アンシス・ジャパン株式会社
技術部
プリンシパルアプリケーションエンジニア 太田 明 様



Ansys では、長年図研様と基板レベルでの解析連携を提供していますが、フラグシップツールである CR-8000 Design Force は、複合基板やメカモデルの実装を含めたシステムレベルの設計が行えます。これまで、この設計が完了したシステムレベルの解析を行うには、個々のモデルをその都度 Export し、Ansys 側で再度組み立てを行うプロセスが必要でした。今年両社で開発サポートされた System EDB は、このプロセスを大幅に削減することができます。このセッションでは、System EDB による基板を基盤とする電磁界解析 HFSS 3D Layout のシミュレーションプラットフォームを紹介いたします。

AP2 航空 / 宇宙 / 自動車の EMC 問題へのチャレンジ EMA3D Cable のご紹介

アンシス・ジャパン株式会社
技術部
プリンシパルアプリケーションエンジニア 五十嵐 淳 様



航空 / 宇宙 / 自動車の動力の電化、実装される電子機器の増加により、EMC の課題は複雑さを増えています。課題を解決するにあたり、測定を繰り返し実施しても本質的な原因究明にたどり着けず、課題の積み残しが発生することもあります。CAE を活用すればその課題解決の糸口を測定の繰り返しを実施するよりも早くつかむことができます。それができればモノづくりの仕組みが大きく変わるはずです。本セッションではお客様のモノづくりを EMC の観点で解決する EMA3D Cable のご紹介をいたします。

AP3 PCB 特性を考慮する スイッチング電源回路の シミュレーション・フロー

キーサイト・テクノロジー株式会社
EDA アプリケーションエンジニアリング部
佐々木 広明 様



最近のスイッチング電源回路設計では、小型化と高効率化が求められ、スイッチング周波数が高速化してきています。しかし、急峻なスイッチング波形を使用した回路では、基板の寄生成分の影響により、サージ、ノイズが増大する傾向にあります。本セッションでは、キーサイトの電磁界解析と回路解析の統合設計環境の PathWave ADS を使用した、スイッチング電源の PCB の電磁界解析と回路解析の協調解析フローおよび解析事例をご紹介します。

AP4 3D デジタルツインで 製造業の DX を実現する！ ～『XVL VR』活用の実例～

ラティス・テクノロジー株式会社
代表取締役社長 鳥谷 浩志 様



新型コロナウイルス禍において、急激な変化への変革力が求められ、製造業でも DX (デジタルトランスフォーメーション) が必然となっています。なかでも、組立型の製造業で重要となる作業姿勢や、視認性を、『XVL VR』を用いて、実機完成前にフロントローディングしようと取り組む企業が増えています。本セッションでは、超軽量 3D 『XVL』を用いた DX への取り組みや、その効果を『XVL VR』での事例などを取り上げながらご紹介いたします。

AP5 Simscape による コンバータのモデルベースデザイン

MathWorks Japan
アプリケーションエンジニアリング部
鎌谷 祐貴 様



本セミナーでは CR-8000 と弊社製品との連携についてご説明した後、コンバータを題材としたモデルベースデザインのワークフローについてご紹介いたします。回路と制御の統合シミュレーション、自動コード生成による円滑なラピッドプロトタイプの実現はもちろん、弊社の Simscape Electrical を用いることでコンバータの熱解析、故障注入といったシステムレベルの検証に活用できるシミュレーションが実施できることをご説明いたします。

AP6 AI 実装ナレッジソリューションの ご紹介

株式会社図研プリサイト
マーケティング部ナレッジ製品営業課
課長 倉本 将光 様



図研プリサイトでは DX 推進における打ち手の一つとして、企業内に蓄積されている膨大なデジタルデータの活用促進、属人化脱却を AI で支援するナレッジ活用ソリューションを手掛けています。本セッションでは、作成中の文書内容から類似の過去トラ、ベテランのノウハウ、最新のレポートなどの技術情報をプッシュ通知で気付きを促す「Knowledge Explorer」を中心に「DR Navi」や「DS-CR」との連携イメージを交えてご紹介いたします。また、電子部品メーカー品質保証部門のクレーム対応業務を AI の力で支援する新製品「Qualityforce」についても、お客様のご活用事例を交えてご紹介いたします。

AP7 盤設計ソリューションを拡張！ 『E3.series』と『BricsCAD』で 設計から製造までを繋げる

図研アルファテック株式会社
営業本部 ソリューション営業課 営業支援グループ グループリーダー 田中 光 様
株式会社図研
事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第一 SE 課 山下 慎介 様



盤設計プロセスにおいては、レイアウト検討に始まり、機器選定に基づく製造図面作成まで幅広く設計 / 検討を行う必要があります。図面作成は CAD / ツールを活用していますが、検討 / 検証においては、設計初期は頭の中で、実態としては設計の後工程や試作にて行っているケースが多く、手戻りや現物合わせなど非効率な作業が多く発生しています。本セッションでは、検討～設計～製造指示プロセスを明確にし、各フェーズで最適な IT を提供するソリューションをご紹介します。

AP8 図研モデリンクスが提供する System Modeling Solution

図研モデリンクス株式会社
シニアコンサルタント 池田 直泰 様



長らく MBD の推進、立ち上げに従事した経験をもとに、高品質なメカ・エレクトロニクス・ソフトの総合的な技術コンサルティング・サービスを提供しています。利用製品に制約をもたない、お客様の技術課題ベースの純粋な技術コンサルティング・サービスとなります。ものづくりのイノベーションを支援する図研モデリンクスの MBD ソリューション事例をご紹介します。